

グルジア政治・経済 主な出来事

【2015年1月5日～2015年1月11日】

[当地報道をもとに作成]

平成27年1月15日

在グルジア大使館

主な動き

1. 外 政

▼ガリバシヴィリ首相がラトビアを訪問(9日)

・ガリバシヴィリ首相がクヴィリカシヴィリ副首相兼経済・持続的発展大臣、ベルチャシヴィリ外相、バクラゼ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣とともにラトビアを訪問。

・「ガ」首相はラトビアのベルズィンシュ大統領、ストラウマ首相、国会議長、リンケヴィチ外相と会談。アブハジアおよび南オセチアとロシアの「条約」や EU との連合協定の実施、査証自由化などについて議論。

・「ス」ラトビア首相は会談で「ラトビアは EU・グルジアの査証自由化に必要なグルジアの改革の実施を支援する」と述べた。「ガ」首相は、東方パートナーシップの更なる発展に対するラトビアの役割を強調。

・「リ」ラトビア外相は、「ラトビアはリガでの東方パートナーシップ首脳会議で最高の成果が得られるようグルジアを支援することを約束する」と述べた。

・「ガ」首相は国際会議「欧州開発年」の開会式に出席。同会議に参加していたモグリーニ EU 外交・安全保障政策上級代表とも会談。査証自由化行動計画、グルジアの領土一体性などについて議論した。

2. 内 政

▼省庁間外交政策評議会が設置される(6日)

・政府は、外交政策の優先課題の実施に関する指針をまとめ、関連機関の調整を行なうため、省庁間外交政策評議会を設置。6日に第1回会合が開かれた。

・ガリバシヴィリ首相が議長となり、ウスパシヴィリ国会議長、ベルチャシヴィリ外相、ツルキアニ法相、ジャネリゼ国防相、クヴィリカシヴィリ経済・持続的発展相、バクラゼ欧州・欧州大西洋統合担当国務大臣、政府の安全保障・危機管理評議会書記、経済評議会書記、事務局長・次長、国会議員などから構成される。

3. 経 済

▼2014年12月のインフレ率(5日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は 0.7%。アルコール飲料・タバコの価格が 1.2% 上昇。

・年間インフレ率は 2.0%。食料品・非アルコール飲料の価格が 2.5% 上昇 (果物 21.2%、牛乳・チーズ・卵 3.9%、魚 3.2%、油脂 -1.3%)。医療費が 6.7% 上昇。

▼人口の縮小(5日)

・クヴィリス・パリトラ紙がシャヴィシヴィリ国家統計局国勢調査・人口動態部門長のインタビューを掲載。2002

年に実施された前回の調査から、人口が減少していると指摘。2014 年秋に実施された国勢調査の速報結果は 2015 年 4 月末に発表される予定。

▼2014年の外国人訪問者数(6日)

・内務省の発表によれば、2014 年の外国人訪問者数は 5,493,492 人で前年比 1.88% 増 (2007 年以降で前年比増加率は最低)。うち 24 時間以上滞在する旅行者は 2,218,050 人で前年比 7.39% 増。出身国別の内訳は、多い順にトルコ 26.1% (前年比 10.1% 減)、アルメニア 24.1% (同 2.3% 増)、アゼルバイジャン 23.3% (同 19.2% 増)、ロシア 14.7% (同 5.58% 増)、ウクライナ 2.6% (同 12.9% 増)。EU 諸国からの訪問者数は前年比 11% 増。

▼カダギゼ国立銀行総裁が2014年の欧州を代表する中央銀行総裁に選出される(5日)

・英「The Banker」誌は、2014 年の欧州を代表する中央銀行総裁にカダギゼ国立銀行総裁を選出。十分に市場経済化され、かつ安定的なグルジアの銀行セクターは大きなショックにも抵抗力があると評価。グルジアの課題として、脱ドル化を挙げた。

▼スプサでの石油精製工場の建設計画(6日)

・露メディアが、露資本が参加し、石油精製工場などのエネルギー・ハブ施設をスプサに建設する総額 170 億ドル規模の計画が進んでいると報道。

・7日、カラゼ・エネルギー大臣は構想があったことを認めつつ、露資本の参加については「初めて聞いた」とコメント。

・チャントウリア・グルジア国際石油公社前社長は TV で、スプサに大規模なエネルギー施設をつくる計画はバクー＝スプサ・パイプラインの着工当時から存在していたとして、計画自体は新しいものではないと強調。露資本の参加については否定。

・9日、クヴィリカシヴィリ経済・持続的発展大臣は、スプサでの石油精製工場の建設に関心を示した投資者はいたが、合意に至らなかったため、政府は石油精製工場をポティに建設することを決定したと述べた。また、スプサでの計画にロシア側の代表者が関与していたとは承知していないと発言。

4. その他

▼グルジア各地での大雪(5日)

・グルジア各地で大雪が降り、グダウリ以北のロシアとの国境通過点までの区間、および、南部ニノツミンダ付近などで道路が一時閉鎖された。スヴァネティ地方ではメスティアを含む広い地域で停電。